

# 平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	英語指導助手配置事業					…継続…								
コード	95	-	23	-	01	-	00	予算事業名	英語指導助手配置事業					
担当部署	学校教育部		教育センター			予算事業コード	会計	10	款	10	項	01	目	02

## 1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 …… 法令による実施義務 …義務ではない…

基本目標(章)	…2章…	学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち	根拠となる法令、条例等	第三次川越市総合計画実施計画
方向性(節)	…2節…	個性を生かす学校教育の推進	個別計画等の名称	なし
施策	…1…	豊かな人間性をはぐくむ教育の推進		
細施策	…3…	英語指導助手配置事業		

## 2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	国際化の進展に対応し、広い視野と国際感覚を持った児童生徒を育成するために、英語指導助手を市立各小・中・高等学校に配置し、小学校外国語活動、英語教育及び国際理解教育の充実を図り、英語力の育成を図る。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	英語指導助手を市内中学校・市立川越高校に配置するとともに、そこを起点として各市立小学校を訪問させる事業である。英語指導助手の雇用形態は、川越市姉妹都市交流による英語指導助手(KET)、川越市内在住の英語指導助手、派遣契約による英語指導助手の3種類である。

## 3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		72,853	67,677	63,141	64,583	62,848	
事業費	A	70,331	66,242	61,078	56,592	62,848	71,948
	B	8,880	8,880	8,880	8,880	8,880	8,880
総コスト(C=A+B)		79,211	75,122	69,958	65,472	71,728	80,828
正規職員(1年間の従事人数)		1.20人	1.20人	1.20人	1.20人	1.20人	1.20人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		79,211	75,122	69,958	65,472	71,728	80,828

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額  
※臨時職員の給与も、人件費に含まれます。

## 4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	小学校1校あたりの派遣日数	日	22.0	47.5	51.4	24.0	年間配置日数÷市内小学校数
成果	中学校1校あたりの派遣日数	日	121.5	83.9	90.7	112.0	年間配置日数÷市内中学校数
成果	小学校1日の平均授業時数	回	-	-	3.9	4.4	総授業数÷総訪問日数
成果	中学校1日の平均授業数	回	-	-	2.9	3.4	総授業数÷総訪問日数

中心指標の考え方	本事業は、成果指標を中心に評価する。
指標に基づく評価	平成23年度から小学校外国語活動が全面実施、また、平成24年度から中学校英語の授業時数が週3時間から週4時間になり、年間で35時間増加した。しかし、英語指導助手の人数は平成18年度から21人のままである。国際化の進展に伴い、広い視野と国際感覚を持った児童・生徒を育成するため英語指導助手配置事業を充実・推進していく。

## 5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	…有効性に課題…
計画的に配置を進めているが、英語指導助手の人数が学校数に対して少ないため、1校あたりの訪問日数が限定される。英語指導助手の人数の確保とともに、質の確保に努めていく必要がある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
採用形態は直接雇用、派遣契約等様々であるが、大半の市町村において英語指導助手配置に係る事業を行っている。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
国際化の進展に対応し、広い視野と国際感覚をもった児童生徒を育成していくためには、英語指導助手を学校に配置し、英語教育、国際理解教育等を充実・推進していくことが重要である。本事業は公教育の教育環境整備の一環であり、廃止・縮小した場合は教育環境の低下が懸念される。	
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	…拡充…
小学校、中学校の新学習指導要領の全面実施を受け、今後も、英語指導助手の人数及び質の確保に努める。また、英語指導助手の積極的かつ効果的な活用について、研究を進める。	